

日本動物学会北海道支部 第545回支部講演会

日時：2012年8月10日(金)16:30~18:00

場所：北海道大学 理学部5号館407室

演題：「両生類胚を用いて血球の起源と分化のしくみを探る」

演者：前野貢 先生（新潟大学理学部生物学科・教授）

両生類胚は、ヒトを含む脊椎動物の発生モデルとして様々な知見をもたらしてきました。脊椎動物において、胚血球の起源が複数あることがつきとめられたのも両生類胚が最初です。胚における最初の造血の場である腹部血島（哺乳類胚や鳥類胚の卵黄囊にあたる場所）の分化にはBMP（骨形成タンパク質）シグナルが必須であることはわかっていますが、その後、どのような制御が働いて、赤血球、白血球が生ずるのか、詳しいしくみはわかりません。また、最近になって、腹部血島の前方領域には、後方とは異なる制御を受けて分化してくる白血球の前駆細胞集団が存在していることもわかり、それらの細胞の性状解析がおこなわれつつあります。本セミナーでは、腹部血島の分化に関与する既知および新規の制御因子についての最近の研究成果を紹介します。

連絡先：柄内 新

北海道大学大学院理学研究院自然史科学部門

st@mail.sci.hokudai.ac.jp